優しく♪力強く

港区民音楽祭 12グループ競演

「歌う喜びを共有し、グループ間の交流を」と市民協働の手づくり合唱イベント「港区民音楽祭～ひまわりコンサート」が十一月十三日、港区民センターで開かれました。港区民音楽祭実行委員会・㈶大阪市コミュニティ協会港区支部協議会・港区役所の主催で四回目。今年のテーマは「とどけ！元気のハーモニー」。

全出演グループによる「ひまわりの風」の大合唱で幕を開け、小学校生涯学習ルームなど十二のグループが唱歌から民謡、ゴスペルまで、日頃の練習の成果を披露しました。どのグループも、優しく、また力強く、個性ある表現が盛んな拍手を浴びていました。

12グループが個性的な歌声を響かせた「第4回港区民音楽祭」（写真はラ♪ラ カントの舞台）

中盤には来場者も含めた「上を向いて歩こう」などの合唱と吹奏楽演奏があり、最後は再び会場一体でペンライトを揺らしながら「ふるさと」を合唱しました。

♪声合わせ生まれる和

情感のこもった美しいハーモニーが感動を誘った「ラ♪ラ カント」（片峯弘子さん指揮・濱長良美さん伴奏）の村沢君子さん（六六）（波除）は出演後、「片峯先生の元で十五年続けてきましたが、最後の『二度とない人生だから』では、そんな日々が思い返され、歌の内容とも相まって感極まってしまいました。一人ならただの音痴（笑）でも、助け合い、声を合わせることで大きな流れや和を生み出せるのが合唱の魅力ですね」と話していました。

♪区民の声をきっかけに

この催しは「発表の場がほしい」「コーラスの楽しさを存分に味わいたい」という区民の声をきっかけに区内のグループが実行委を結成。大阪市コミュニティ協会港区支部協議会や港区役所の援助も得て準備を進め、チラシやポスターも自分たちでデザインしました。

写実主義を問近に

川島恵美子さん画廊オープン

平和の願いをキャンバスに込めて絵画人生を送ってきた川島恵美子さん（八一）（八幡屋）がみなと通沿い（三先2）に画廊をオープンし、それを記念して十一月、近作展が開かれました。

この画廊は川島さんにとって、①絵画人生の集大成②今後の拠点③地域への感謝④次世代への橋渡しの場として建設され、スペイン語で川を意味する「リバリア」と名付けられました。

一階には風景画の大作「昆明（こんめい）の棚田（たなだ）」（八二年中国）など旧作・新作合わせて数点が、二階アトリエには実母を描いた「母の像」（六八年木炭デッサン）などが展示されました。

鑑賞に訪れた池島・三先の中年女性グループ、安部真由美さん、下鶴ケイ子さん、石崎保代さんは、「これが写実主義（リアリズム）というのでしょうか、間近に見ると本当に迫力があり、吸い込まれるような臨場感があります。港区にこんな文化的な薫りのする空間が生まれたのは嬉しいことです」。

川島恵美子さんは、「これからもオープンな場として区民の皆さんに馴染（なじ）んで頂きたい」と話していました。

画廊リバリアで作品を案内する川島恵美子さん（右端）

演劇ガイド

ライブ情報

〈8面にプレゼント〉

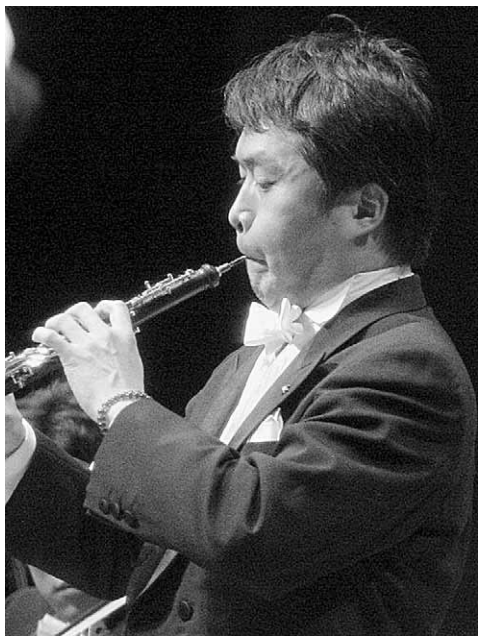
■リピート山中2011ラストコンサート　温かなメッセージソングで人気のリピート山中さん＝**写真**＝が港区へ。十二月二十三日（金祝）十三時半（第一部）、十五時半（第二部）、十七時半（パーティ）。第一部は作家の故綾羽（あやはかずき）一紀さんと作った『上海1930』挿入歌を中心に。第二部は友達や家族で楽しめる演奏。各回二千円。問合せ・申込は会場の石炭倉庫（波除六―五―一八JR弁天町から国道四三号を北進、安治川堤防突当り右☎六五八一―〇六六四）へ。

●八幡屋出身のロックドラマー桐田勝治（きりたかじ）さん　十二月二十四日（土）十九時半から神戸ヴァリット（☎〇七八―三九二―六六五五）でガーゴイルのライブ▽一月十五日（日）江坂ミューズ（☎六三八七―〇二〇三）でガーゴイルと宇宙戦隊ノイズのライブ（詳細未定）。

●三先のフォーク歌手ペドロさん　毎月第一・三木曜二十時ザ・セラー（中央区西心斎橋☎六二一二―六四三七）▽毎月第三火曜二十時かつおの遊び場（中央区宗右衛門町☎〇九〇―五八八二―七〇一五）▽毎月第二火曜二十時半ロージー（中央区西心斎橋☎六二一三―三九九九）。

みなと区 突撃インタビュー 人物列伝

●――14


ソリストとしても活躍する古部さん（08年大阪センチュリー交響楽団との共演）＝同楽団提供（山本茂雄氏撮影）

日本を代表するオーボエ奏者――古部賢一さん（池島出身）〈上〉

ルーツは港中吹奏楽部

青天の霹靂だった首席就任

〝風呂屋のケンちゃん〟から日本を代表するオーボエ奏者へ―。弱冠二十二歳で新日本フィルハーモニー交響楽団首席奏者に抜擢（ばってき）されて二十年。小澤征爾（せいじ）さんら内外の名匠から高い評価を受ける古部賢一さん。

久々の大阪コンサート（十月十七日いずみホール＝前号既報）で里帰りした機会にインタビューしました。

◇

◆まずは現在の活躍のルーツとなった港中学校の吹奏楽部入り、そこでオーボエを担当したいきさつを―

中一、中二と勉強ばかりしていた反動か、中三で突然吹奏楽部に入りました。

初めプロを目指すつもりはなく、高校では吹奏楽部でオーボエを担当しながらヘビメタのバンドを組んだり合唱の指揮をしたりと忙しく、文化祭では花形（笑）でした。高二の終わり頃、梅田先生から受験を勧められ、「医者か弁護士に」とたことも後押しになりました。オーボエを担当するようになったのは、顧問の梅田先生から「オーボエ奏者がおらんねんけど」と勧められ、「これは目立てるな」（笑）と思ったからでした。

◆それは明快（笑）な動機でしたね。その後、東京藝術（げいじゅつ）大学への進学を決断―

就職活動の一つとして軽い気持ちで受けました。おまけに「採用なし」が何年も続いていて、合格なんて夢にも考えませんでした。ところが演奏だけのオーディションが進み、応募者が三十人、五人と絞られ、遂に最後の一人に残ったのです。藝大のオーボエの先生に「どないしましょ？」（笑）と相談したくらい、まさに青天の霹靂（へきれき）でした。若さと将来性を買ってくれたのだと思いますが、新日本フィルは人材登用でも演奏方法でも、失敗を恐れない革新性と柔軟性を持つ楽団だということが分かりました。

◆とは言っても世界的オーケストラの首席奏者。その重みは測り知れません

確かに大看板を背負っている重みを感じます。ソロで「下手（へた）やな」と見られると全体がそう見られるのでミスは許されず、昨日より今日、今日より明日と常に成長していかねばなりません。会社の部長的な存在で、人間関係を調整しなければならない時もあります。その一方で、ソロがうまくいって全体が盛り上がった時には大きな達成感があります。サッカーで言えばフォワードがシュートを決めた時（笑）の快感ですね。

言っていた両親の説得もして下さいました。両親は「一浪して駄目なら諦（あきら）めや」と折れ、結局一浪して合格、「OK」となった訳です。

◆更にその後、藝大在学中に新日本フィル首席奏者のオーディションに挑戦―

◆なるほど。ところでオーボエは世界一難しい楽器とされていますが、その演奏について聞かせて下さい

（つづく）

ふるべ・けんいち　一九六八年池島生まれ。元銭湯「道義湯」の長男。池島小、港中、大手前高を経て東京藝大へ。在学中に新日本フィル首席オーボエ奏者就任。ソリストや室内楽でも活躍。第十回出光音楽賞受賞。東京音大、昭和音大非常勤講師。

次世代に戦争体験等を伝えよう！
お話をききとり、冊子にしてお渡しします。
海軍の過酷な訓練や制裁に死ぬ思いをし、米機の急襲で九死に一生を得、敗戦に衝撃を受けつつ復員しました。戦後は宗教に身を投じ、平和を祈りつつ暮らしています。そんな人生が少しでも次世代の役に立てばと冊子にして頂きました。
（80代男性、総料金16万円）
400字（原稿用紙1枚）で千円が標準料金です。
港新聞・飯田編集事務所 ☎6571-4636

駐車場 月極 18,900円（税込）
★24時間入出庫可
★屋内につき安心
★敷金なしでも可
★車庫証明発行可
大好評受付中 ミドルルーフ車 募集始めました！
カービレッジ216
港区磯路2丁目1-4
<営業>AM8時～PM8時
☎6577-8731
中央大通り・みなと通り・43号線（九条・境川方面）・（朝潮橋方面）・市岡中・りそな銀・ゆめホーム・大和医院・港郵便局

まだまだ七五三 ご予約受付中
成人式も当店でどうぞ
お正月は元旦から営業
★豊富な貸衣裳！
★レンタル無料！
★お出かけOK！
★着付もお任せ！
みなさまの写真スタジオ
三上写真館 Photo Studio MU
磯路2-3-14（三社神社南隣）
0120-813788
撮影のお客様に 当店オリジナル写真立てなどが当たる抽選あり
http://www.photostudio-mikami.com〈木曜定休〉

募集（今年度2才児、来年度2カ月～2才児）
赤ちゃん遊んでます！
～みんなキラキラしています～
基準保育 9～16時（8～18時も可）
保育料 収入や家庭事情により決定（市から補助あり）
♪ヴァイオリンのおけいこしませんか♪
♪ピアノおしえます（中学生以上）♪
大阪市承認 人見（ひとみ）ベビーセンター
☎6574-3423（東條）港区磯路2-10-1 電話はPM4:30～